

グローバルな人材育成を目指し、
進路にそったコースとカリキュラムを再編。
さらに魅力あふれる経済学部へ。

■ もっと学生の進路にそったコース制へ。

コース制とは、多様な科目を系統的に学べるように関連科目を配置した履修モデルです。
2013年度から3つのコースを新たに設置し、学生の進路にそった形に再編。

1 「グローバル・コミュニケーションコース」

経済学と語学力と異文化理解をコラボレートし、
学部全体の語学力のアップと「英語エリート」の育成をめざします。

2 「産業と企業コース」

製造業や流通業などを志願する学生を対象とし、
産業分析や企業分析をより深く学びます。

3 「金融コース」

銀行、証券会社、生命保険・損害保険会社を目指す学生を対象とし、
金融の専門知識や会計学を集中的に学びます。

既存の「くらしと環境コース」「地域経済とまちづくりコース」

「公共政策コース」「国際政治経済コース」とあわせて、学生の進路を網羅します。

■ 経済学の理論をしっかり学ぶカリキュラムへ。

すべてのコースに共通する土台となる力を、しっかり身につけるために、
「学部共通科目」を設置し、経済学の理論・歴史・計量・情報処理関係の科目を配置しました。

経済学部はこれまで以上に社会の期待に応え、
さらに、学生の進路に役立つ学部へと生まれ変わります。
さあ、私たちと一緒に学びましょう！



NEW

1 グローバル・コミュニケーションコース

■経済学、語学力、異文化理解のコラボレーション

グローバル化の進む今日の社会では、異文化に対する理解はもとより、コミュニケーションを円滑に行うための語学力が不可欠です。興味のある語学(英語、中国語、フランス語)と経済学のコラボレーションからは、きっとステキな相乗効果が生まれるはずです。世界を見る目を養いつつ確かなコミュニケーション力の習得をめざしましょう。

【主な科目】

「プレゼンで学ぶ時事英語」Advanced Intensive English A・B

「留学英語A・B」「海外実習」「超級中国語」「フランス語を話そうA・B」など

【想定される進路】

外資系企業、商社、メーカー海外部門、航空会社(スタッフ、C.A.)、貿易会社、金融機関、テレビ・新聞・雑誌などメディア

NEW

2 産業と企業コース

■産業・企業分析の理論と手法を深く学び、即戦力となる企業人をめざす。

日本や世界中の産業と企業において、良い仕事ができる知識と能力を身につけます。産業と企業を中心とする経済学の理論とその応用の手法を学ぶと同時に、さまざまな産業の現状と課題を把握しながら、企業の組織と経営戦略についても習います。また、メーカー、商社などの企業分析と企業内部の調査・学習についても、実践的に学びます。

【主な科目】

「産業組織論」「ものづくり産業論」「日本経済論」「企業分析」「工場見学」「企業実習」

【想定される進路】

日本や世界中の各産業にわたる企業(製造業、流通業、サービス産業、運輸業、電力・ガス会社など)、商社、中小企業など

NEW

3 金融コース

■金融の専門知識を学び、金融力を高める

近年の世界的金融危機に見られるように、現代の経済社会では私たちの暮らしもさまざまな金融問題から直接大きな影響を受けるようになります。金融に関する高度な専門知識と優れた分析能力を備えた人材がますます求められるようになっています。

金融コースでは、さまざまな金融機関で活躍できるプロフェッショナルの育成をめざして、金融の専門知識を集中的に学び分析能力を高めます。

【主な科目】「金融論」「金融政策論」「国際金融論」「金融システム論」「企業ファイナンス論」「金融リスク論」

【想定される進路】銀行、信用金庫、証券会社、生命保険会社、損害保険会社など

2年生・秋

卒業論文に向かって少人数制で深く学ぶ「専門演習(ゼミナール)」がスタート。知識だけでなく、独自の視点や思考力も磨きます。

きよ、好きなコースを選んで
もっと深く学んで行こう!

2年生・春

1年生での経験をもとに、7コースのなかから興味のあるコースを選択。専門的な学問の世界に踏み込んでいきます。

1年生

経済学の基礎を学ぶとともに、「基礎演習」で学習の理由・目標を明確化。コースにかかる前に、経済を学ぶ土台を作り上げる。

4 くらしと環境コース

■環境など社会が抱える諸問題を理解し、解決を模索する

少子高齢化、社会格差、環境汚染といった先進国が共通して抱える諸問題は、今後の経済成長に関わるだけでなく、私たちのくらしに大きな影響を与えています。本コースでは、これらの問題を解決するための行政、企業、NPOなどの活動を学び、解決のための糸口を模索していきます。

【主な科目】「環境経済論」「環境政策」「社会保障論」「社会福祉論」「労働政策」「労働経済学」

【想定される進路】企業(環境・エネルギー関連)、福祉関係、NPO・NGO、国家・地方公務員など

5 地域経済とまちづくりコース

■現場体験を通して、まちづくりを考える

地域には固有の産業や文化があり、抱える問題や課題もさまざまです。そのため本コースでは、理論を学ぶとともに、実際に現地を訪れ、地域を調査することにも力を注いでいる。各地域の特性を理解したうえで、地域の課題を解決できる、知識、実践力、政策力の育成をめざします。

【主な科目】「地域開発論」「地域経済論」「地域文化論」「関西経済論」「都市経済論」「地域・社会調査」

【想定される進路】地域密着型企業、J.A.、生協、NPO・NGO、国家・地方公務員など

6 公共政策コース

■よりよい社会のため、政策立案能力を磨く

ますます複雑化する現代社会のなか、国や地域の行政機關が果たす役割はこれまで以上に大きくなっています。本コースでは、社会が直面する課題を見出し、これらの課題を解決に導く政策・制度の立案ができる人材を育成するため、法律や行政、財政などに関わる科目を重点的に学びます。

【主な科目】「財政学」「行政学」「税法」「地方財政論」「行政法総論」「公共政策」など

【想定される進路】国家・地方公務員、企業、公認会計士、税理士、行政書士など

7 國際政治経済コース

■世界規模で物事をとらえる幅広い視野を養う

ヒト・モノ・カネが国境を越えて行き交う現在において、グローバルな視野から物事をとらえる洞察力や国際感覚はますます必要になっています。本コースでは、中国やアメリカといった世界の主要国を題材に、世界の抱える政治的・経済的問題について学ぶことで、これらの素養を育みます。また、選択した科目によっては実際にドイツやフランス、中国、ベトナムなどへ調査に行くことがあります。

【主な科目】「国際経済特論」「開発経済論」「国際関係論」「日本経済論」「中国経済論」「海外実習」

【想定される進路】貿易商社、外資系企業、旅行代理店、NPO、NGOなど